

特定建設工事共同企業体入札参加資格審査申請書

令和 年 月 日

(あて先) 伊勢神宮奉納全国花火大会委員会
会長 伊勢市長 鈴木 健一

今般、連帯責任によって建設工事の共同施工を行うため、 を
代表者とする 特定建設工事共同企業体を結成したので、指定の書類を添え
て申請します。

なお、この申請書及び添付書類のすべての記載事項は、事実と相違ないことを誓約します。

1 共同企業体の名称 特定建設工事共同企業体

2 共同企業体の構成員

代表者 住所
商号又は名称
代表者名 印

構成員 住所
商号又は名称
代表者名 印

構成員 住所
商号又は名称
代表者名 印

特定建設工事共同企業体協定書

(目的)

第1条 当共同企業体は、次の事業を共同連帯して営むことを目的とする。

(1) 委員会発注に係る第72回伊勢神宮奉納全国花火大会施設工事(当該工事内容の変更に伴う工事を含む。以下「施設工事」という。)の請負に関すること。

(2) 前号に付帯する事業に関すること。

(名称)

第2条 当共同企業体は、
特定建設工事共同企業体(以下「企業体」という。)と称する。

(事務所の所在地)

第3条 当企業体は、事務所を
に置く。

(成立の時期及び解散の時期)

第4条 当企業体は、令和 年 月 日に成立し、建設工事の請負契約の履行後3箇月を経過するまでの間は解散することができない。

2 前項の規定にかかわらず、施設工事を請負うことができなかつたときは、当企業体は、当該施設工事に係る請負契約が締結された日に解散するものとする。

(構成員の住所及び名称)

第5条 当企業体の構成員は、次のとおりとする。

(住所) (商号又は名称) ○○○会社

(住所) (商号又は名称) □□□会社

(住所) (商号又は名称) △△△会社

(代表者の名称)

第6条 当企業体は、
を代表者とする。

(代表者の権限)

第7条 当企業体の代表者は、施設工事の請負に関し、当企業体を代表してその権限を行うことを名義上明らかにした上で、発注者及び監督官庁等と折衝する権限並びに請負代金(前払金及び部分払金を含む。)の請求及び受領並びに当企業体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

(構成員の出資の割合)

第8条 当企業体の構成員の出資の割合は、次のとおりとする。ただし、当該施設工事について発注者と契約内容の変更増減があつても、構成員の出資の割合は変わらないものとする。

○○○会社 %

□□□会社 %

△△△会社 %

2 金銭以外のものによる出資については、時価を参酌の上、構成員が協議して評価するものとする。

(運営委員会)

第9条 当企業体は、構成員全員をもって運営委員会を設け、組織及び編成並びに施設工事

の施工の基本に関する事項、資金管理方法、下請企業の決定その他の当企業体の運営に関する基本的かつ重要な事項について協議の上決定し、施設工事の完成に当たるものとする。
(構成員の責任)

第10条 各構成員は、施設工事の請負契約の履行及び下請契約その他の施設工事の実施に伴い当企業体が負担する債務の履行に関し、連帯して責任を負うものとする。

(取引金融機関)

第11条 当企業体の取引金融機関は、銀行 店とし、当企業体の名称を冠した代表者名義の別口預金口座によって取引するものとする。

(決算)

第12条 当企業体は、施設工事竣工の都度当該施設工事について決算するものとする。

(利益金の配当の割合)

第13条 決算の結果利益を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員に利益を配当するものとする。

(欠損金の負担の割合)

第14条 決算の結果欠損金を生じた場合には、第8条に規定する出資の割合により構成員が欠損金を負担するものとする。

(権利義務の譲渡の制限)

第15条 本協定書に基づく権利義務は、他人に譲渡することはできない。

(施設工事途中における構成員の脱退に対する措置)

第16条 構成員は、発注者及び構成員全員の承認がなければ、当企業体が施設工事を完成する日までは脱退することができない。

2 構成員のうち施設工事途中において前項の規定により脱退した者がある場合においては、残存構成員が共同連帯して施設工事を完成する。

3 第1項の規定により構成員のうち脱退した者があるとき、残存構成員の出資の割合は、脱退構成員が脱退前に有していたところの出資の割合を残存構成員が有している出資の割合により分割し、これを第8条に規定する割合に加えた割合とする。

4 脱退した構成員の出資金の返還は、決算の際に行うものとする。ただし、決算の結果欠損金を生じた場合には、脱退した構成員の出資金から構成員が脱退しなかった場合に負担すべき金額を控除した金額を返還するものとする。

5 決算の結果利益を生じた場合において、脱退構成員には、利益金の配当は行わない。

(構成員の除名)

第17条 当企業体は、構成員のうちいずれかが、施設工事途中において重要な義務の不履行その他の除名し得る正当な事由を生じた場合においては、他の構成員全員及び発注者の承認により当該構成員を除名することができるものとする。

2 前項の場合において、除名した構成員に対してその旨を通知しなければならない。

3 第1項の規定により構成員が除名された場合においては、前条第2項から第5項までの規定を準用するものとする。

(施設工事途中における構成員の破産又は解散に対する処置)

第18条 構成員のうちいずれかが施設工事途中において破産又は解散した場合においては、第16条第2項から第5項までの規定を準用するものとする。

(代表者の変更)

第19条 代表者が脱退し、若しくは除名された場合又は代表者としての責務を果たせなくな

った場合においては、従前の代表者に代えて、他の構成員全員及び発注者の承認により残存構成員のうちいずれかを代表者とする。

(解散後のかし担保責任)

第20条 当企業体が解散した場合においても、当該施設工事につきかしがあったときは、各構成員は、共同連帯してその責めを負うものとする。

(協定書に定めのない事項)

第21条 この協定書に定めのない事項については、運営委員会において協議のうえ定めるものとする。

〇〇〇会社、□□□会社、△△△会社は、上記のとおり特定建設工事共同企業体協定を締結したので、その証拠としてこの協定書 通を作成し、各通に構成員が記名押印し、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

住所

商号又は名称 〇〇〇会社

代表者名 代表取締役 印

住所

商号又は名称 □□□会社

代表者名 代表取締役 印

住所

商号又は名称 △△△会社

代表者名 代表取締役 印

使用印鑑届

使用印

社印

代表者印

上記の印鑑を、入札に参加し、契約の締結並びに代金の請求及び受領のために使用したいので届けます。

令和 年 月 日

共同企業体の名称

特定建設工事共同企業体

共同企業体代表者

住所

商号又は名称

代表者名

印

共同企業体構成員

住所

商号又は名称

代表者名

印

共同企業体構成員

住所

商号又は名称

代表者名

印